

合同礼拝（癒しの礼拝）

2019年2月10日 午前10時30分 主会堂

本日は合同礼拝になりますので、主会堂にお集まりください。プログラムは入り口で渡されます。日本語部は、皆で賛美歌312番、いつくしみふかき、を歌います。礼拝後の親睦は、Welcome Centerにて行われます。

信仰による祈は、病んでいる人を救い、そして、主はその人を立ちあがらせてくださる。かつ、その人が罪を犯していたなら、それもゆるされる。だから、互に罪を告白しあい、また、いやされるようにお互のために祈りなさい。義人の祈は、大いに力あり、効果のあるものである。（ヤコブの手紙5章12-16節）

憩いの場

“御霊のとりなし”

“。。御霊は、聖徒のために、神の御旨にかなうとりなしをしてくださるからである。”（ローマ人への手紙8章27日節）

私たちは、誰かのために祈るとき、その人のことをよく知っていないといけない、と思っではないのでしょうか。もちろん、相手の人について、その状況をよく知っていることは、祈りに役立ちますが、いつも何かあるいは誰かについて深く知りえるとは限りません。しかし、聖書を読むと、どのように祈っていいかわからないときは御霊にゆだねると、とりなしてくださる、と書かれています。

2月10日は癒しの礼拝が行われますが、それに先立ち、数週間ご聖霊の働きについてメッセージを通して考えてきました。ご聖霊は癒し、証し、印、として働かれ、そして信徒たちのためにとりなしをされる方でもあります。（別に韻を踏んだわけではないのですが、なぜか日本語だと全部最後が同じ音で終わっています。）とりなし、とは **Intercession** という言葉でも表されますが、御霊は、人と神と間に介入して下さり、助けてくださるのです。しかし、そのためにはご聖霊のお力にゆだねる、という謙虚な姿勢が必要です。

癒しの礼拝の時に、牧師、ミニスターたちが、塗油をしますが、私たちの癒しの願いをご聖霊がとりなしてくださるように、祈りましょう。そして、それぞれがご聖霊の働きにゆだね、ご聖霊の導きの中で、神のご慈愛をより深く知ることができますようにお祈りします。（Scroggins 由紀）

記事: 消息

—陳百合子姉、南部勝牧師、武井里花姉、小坂るみ姉、三縄都美子姉、Chieko Dano 姉、下竹寛子姉、英語部の Kate Whitmore 姉、Ron Barlow 兄、Donna Barlow 姉など、主の癒しを必要とされている方々のためにお祈りください。

お知らせ

—本日は恒例の癒しの礼拝が午前10時30分から主会堂で行われます。礼拝後のティータイムは Welcome Center であります。皆さん、どうぞご参加ください。

—2月17日は、午後2時より恒例の Day of Remembrance が行われます。今回の講演は、日系活動家として著名なフレッドコレマツ氏の娘さんのカレンコレマツさんがスピーチをされます。会場は Chicago History Museum です。年々、より多くの人々が集う会になりましたが、近年の反移民、人種主義の論調に対して、日系人の歴史は非常に貴重なメッセージとなっています。今回は先着順に着席しますので、どうぞ早めに会場に到着できるよう、ご計画ください。

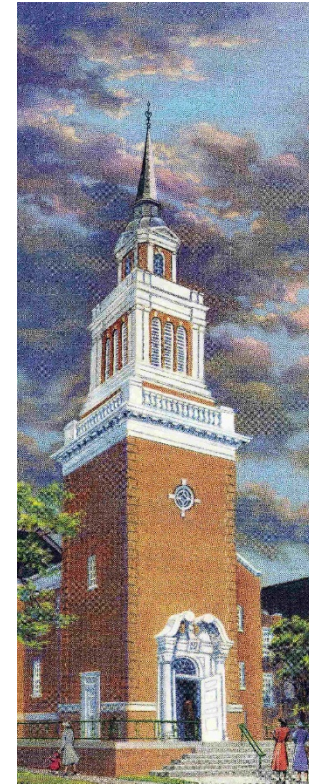
今週の讃美：御名を掲げて

<https://www.youtube.com/watch?v=Nk46TQAWNxU>

発行：2019年2月6日ノースショアバプテスト教会日本語部

スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)

電話：773-728-4200



週報

第3708号

2019年2月10日

ノースショア バプテスト教会 日本語部
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640

Phone: 773-728-4200

Web: www.northshorebaptist.org